

## 【研究課題名】sFLT-1/PlGF 比を用いた早発型妊娠高血圧腎症の重症化予測に関する研究

このたび当院では、入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた標記研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を『6. お問い合わせ先』に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

### 1. 研究の対象となる方

2015年4月1日～2023年9月30日の間に山梨県立中央病院産科にて早発型妊娠高血圧腎症と診断された方

### 2. 研究目的・方法

妊娠高血圧症候群の中でも、特に早発型と呼ばれる妊娠34週未満で発症した場合、早発型妊娠高血圧腎症と分類され重症化しやすく注意が必要とされます。近年、胎盤形成に関わる血管新生因子PlGF (placental growth factor: 胎盤増殖因子) および、その阻害因子sFlt-1 (soluble fms-like tyrosine kinase-1: 可溶性fms様チロシンキナーゼ-1) は、妊娠高血圧腎症の病態形成に関与していることが明らかになりました。この2つの採血項目から算出したsFlt-1/PlGF比が妊娠高血圧腎症の短期発症予測の補助マーカーとして現在利用されています。しかし、sFlt-1/PlGF比が妊娠高血圧腎症を発症した妊婦に対してその重症化予測に有用かどうか検討した報告は本邦ではまだありません。本研究は本邦においてsFlt-1/PlGF比が妊娠高血圧腎症の重症化予測に有用か検討し、臨床現場で応用できるか検討することを目的とします。

研究実施期間：研究機関の長の許可日 ～ 2024年3月31日まで

### 3. 研究に用いる情報の種類等

研究に用いる情報：病歴、出生体重、分娩週数など

本研究に用いる情報は、診療録から必要な情報を収集し、匿名化した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、研究責任者が個人情報情報を厳重に保護し、当院のみで使用し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 4. 情報を利用する者の範囲

山梨県立中央病院 産科 篠原諭史

### 5. 情報の管理責任者

山梨県立中央病院 産科 篠原諭史

### 6. お問い合わせ先

情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代諾者の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。また、本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。

連絡先：研究責任者 山梨県立中央病院 産科 篠原諭史  
〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号  
TEL：055-253-7111（代表）